

## 山形県の養豚場で豚熱を確認！（国内60例目）

12月25日、山形県鶴岡市の養豚場において豚熱の患畜が確認されました。

京都府ではワクチン接種をしていますが、飼育施設への部外者の立入制限と車両・靴等の消毒、施設周辺の消毒 やネズミ駆除、野生動物の侵入防止などの衛生対策も実施してください。

### 【60例目の概要】

#### ◆発生農場

山形県鶴岡市 1,327頭 飼養

#### ◆経過

- ・12月24日、飼育豚の死亡増加の通報を受け、山形県が立入検査をしたところ、豚熱の疑いを認めた。
- ・国で精密検査を実施し、12月25日、豚熱の患畜であると判明。

### 豚やいのししの健康チェック！

- 元気、食欲はありますか？
- 下痢や便秘をいませんか？
- ふらついたり、けいれんしていませんか？
- 目の充血や目やにはありませんか？
- 血便をいませんか？
- 耳が赤紫色になってませんか？



耳翼の紫斑

管内の飼育豚、いのししにはワクチンをしていますが、油断をせず、衛生対策をしっかりと行い、感染のリスクを下げましょう！

以下について、いまいちど点検をお願いします！

- ☑ 毎日、豚やいのししの健康観察をしてください。異常があればすぐ通報！
- ☑ 出入りする車両や飼育施設周辺の消毒を徹底してください。
- ☑ 飼養衛生管理区域専用の衣服・長靴を着用してください。
- ☑ ネットや柵、コンパネなどを活用し、いのしし、ねずみなどの野生動物の侵入や接触の防止対策をしてください。
- ☑ 肉及び肉製品が含まれている可能性のある飼料は加熱給与してください。

(攪拌しながら90℃以上60分以上又はこれと同等 以上)

※ 攪拌しながら90℃で60分以上、又は95℃で19分以上、100℃で6分以上